

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (ヴォーカリストコース)											
ソルフェージュ 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	山路浩加、小澤ゆうな			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
1年生次に習得した理論を生かし、実践に移せるようにしていく。正しいピッチや読譜はもちろん、それに伴う知識を学習し、オリジナル曲作成時やアンサンブル時に生かせるようにする。											
到達目標											
基礎コースは、ヴォーカリストとして最低限以上の音楽基礎知識を身につけ、楽器メンバーとの意思疎通ができるようにする。応用コースはレコーディング、コーラスの仕事に対応できるようにする。											
授業方法											
応用コース、基礎コースに分け。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)。											
履修上の注意											
ステップアップ方式の授業展開のため、欠席した場合はプリントを受け取り、次回までに補講することが必要になります。また、提出課題は自宅、または放課後解放などを利用して提出しなければなりません。4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。											
教科書教材											
配布プリント、コールユーブンゲン											
回数	授業計画										
第 1 回	基礎コース、応用コースのクラスわけ試験										
第 2 回	CMスケールをユニゾンでピッチずれず正確に歌える										
第 3 回	CMスケールの展開した音程を正確に歌える										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (ヴォーカリストコース)	
ソルフェージュ 3	
第4回	CMスケールダイアトニックコード (4音) を書きピッチずれず正確に歌える
第5回	CMクロマティックスケールを書きピッチずれず正確に歌える
第6回	C主音 (半音階クロマティックスケールの主音との音程) を書きピッチずれず正確に歌える
第7回	中間テスト
第8回	Cナチュラルマイナスケールを書きユニゾンでピッチずれず正確に歌える
第9回	C主音 (Cmスケールの主音との音程DoReDoMe...) を書きピッチずれず正確に歌える
第10回	Cハーモニックマイナスケールを書きユニゾンでピッチずれず正確に歌える
第11回	C主音 (Cハーモニックmスケールの主音との音程DoReDoMe...) を書きピッチずれず正確に歌える
第12回	Cメロディックマイナスケール
第13回	C主音 (Cメロディックmスケールの主音との音程DoReDoMe...) を書きピッチずれず正確に歌える
第14回	期末テスト
第15回	前期まとめマイナスケール3種を使ったメロディ